



西播磨

相生市・たつの市・赤穂市・中央市・太子町・上郡町・佐用町
西播磨地域ビジョン情報誌

きらきら通信

NISHIHARIMA KIRA KIRA TSUUSHIN

2019.10 No.39



第18回出る杭大会
(平成31年4月29日)

第18回出る杭大会まとめ	1
委員長挨拶	2
推進チーム紹介	2~5
西播磨地域夢会議の開催	6
第10期ビジョン委員募集	6
西播磨地域ビジョンHP・Facebook紹介	7
編集後記	7



発行 西播磨地域ビジョン委員会



「出る杭大会」
マスコットキャラクター
でるたん

第18回出る杭大会 まとめ



平成最後の4月29日、播磨科学公園都市芝生広場にて「第18回出る杭大会」を開催しました。快晴ではなかったものの、全44団体の「出る杭」たちが地域での活動を、ブース出展やステージパフォーマンスを通じて発表しました。出場団体には西播磨地域を飛び越え、他県やなんと海外からの参加者もありました。

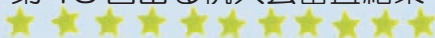
出る杭大賞を獲得した団体は、坂越のまち並みを創る会（赤穂市）、県立赤穂高等学校定時制生徒会 地域ボランティアの会（赤穂市）、姫路市カヌー協会（姫路市）となり、それぞれ10万円の副賞を獲得しました。

約1万8千人もの来場者には、スタンプラリー、巨大ガラポン、ヨーヨーすくいなど楽しんでもらえる取り組みにも注力しています。副賞や運営費を協賛いただいている企業や団体の皆様には深く感謝申し上げます。半年後には第19回出る杭大会を迎えます。大会を盛り上げていただくと共に、地域づくり団体の皆様の活力で西播磨を元気にして下さいようご協力をよろしくお願い致します。

出る杭応援隊チームリーダー
堀 卓史



第18回出る杭大会審査結果



賞	受賞団体(所在地)
出る杭大賞	坂越のまち並みを創る会(赤穂市)/県立赤穂高等学校定時制生徒会 地域ボランティアの会(赤穂市)/姫路市カヌー協会(姫路市)
西播磨ビジョン賞	県立太子高等学校 Jコーラス部(太子町)/ファッションショー実行委員会(たつの市)
夢づくり賞	comodo 姫(姫路市)/鞍居地区ふるさと村づくり協議会(上郡町)
でるたん賞	佐用町国際交流協会(佐用町)/ママの働き方応援隊 たつの校(たつの市)
パフォーマンス賞	S L F ジャントランス(赤穂市)/ゆうゆう学園 太極拳クラブ(たつの市)/県立龍野北高等学校 ダンス部(たつの市)
笑顔で元気賞	ナニ ホア フラサークル(相生市)
心なごみ賞	「みんなで童謡を歌おう」の会(たつの市)
県民局特別賞	ナニ ホア フラサークル(相生市)/ゆうゆう学園 太極拳クラブ(たつの市)ファッションショー実行委員会(たつの市)/おらら野クラブ(赤穂市)/赤松地区むらづくり推進委員会「赤松手づくり鎧、かぶとの会」(上郡町)



“地域のリーダーであれ”



第9期

西播磨地域ビジョン委員会
委員長 伊藤 一郎

私は、現在の社会は全国的に、地域特有な文化事業(祭り・盆踊りなど)や良き風習、また日本人が親しんできた文化(踊り・音楽・書画など)が次の世代に引き継がれない時代ではないかと思ひます。

西播磨地域ビジョン委員会は、西播磨で活躍されている人達の発表の場として「出る杭大会」を作り、応援してきました。地域社会の活力が低下している現在にとって、大切な発表の場だと思ひます。

私が西播磨地域ビジョン委員の皆様に期待するものは、各委員会の活動と「出る杭大会」を通じて地域のリーダーになってほしいのです。すでに、色々活躍されているビジョン委員もおられますので、そのノウハウを受けてください。また、まだビジョン委員会に所属されていない方は、是非とも参加し地域のリーダーになっていただきたいと思ひます。

推進チーム紹介

★健やか子ども応援チーム★

温故知新 故きを温ねて新しきを知る

私たちのチームでは、保育所、こども園などを訪問して、主に5歳児に対して論語、茶道、昔あそび、絵本の読み聞かせなどを行っています。

まず元気よく挨拶をします。そして、名前を呼ぶと「ハイ」という元気な返事が、返ってきます。アイコンタクトをとりながら、ひとりひとりをしっかり受けとめてあげます。

その後正座で背筋を伸ばして黙想をして心を落ち着かせて素読を始めます。

「継続は力なり」で繰り返すことで漢字も覚えて、今では歯切れのよい漢文口調が快くなりました。

命はご先祖からずっとつながっている。人の命の大切さ、人を思いやる心などを育ててほしいと思ひます。最近問題になっているスマホやタブレットも見せっぱなしにしないで、上手に大人が間に入りかわる、一緒にあそぶことを心掛けることが大切です。いろんな経験もし、泣き、くやしい思いもし、そして育っていくのです。

子どもの嬉しい楽しい気持ちに共感すること。「いや～ よーできたな」と、忙しくとも一瞬子どもを振り返ってみる心の余裕が、子どもの心を育てると思ひます。

これからも論語のすばらしさを共に学び続け、健康と良い仲間をめぐり会えたことを感謝し、子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思ひます。



心に残るいいことは

感動は人を変える

笑いは人を潤す

笑いは人を豊かにする

そして感動し笑い夢を抱くことができるのは人間だけである

広報部員 中野 愛子

★出る杭応援隊★



ビジョン委員会のシンボルプロジェクト「第18回出る杭大会」は、本年も4月29日に多くの参加団体、そして兵庫県下から多数の来場者が集まり、ビジョン委員の協力も得て、盛大に行われました。来年も多くの参加者を募り、新たな幕開けにしたいものです。

出る杭応援隊のチーム活動としては、堀チームリーダーのもと6月30日に佐用町の宿場町で有名な平福を訪れました。佐用町では旧小学校区ごとに13の地域づくり協議会があります。その中の一つ平福地域づくり協議会の大谷会長さんより、古民家を改装した瓜生原邸で昼食のお蕎麦をいただきながら、地域づくりのなれ初めやこの地域での様々な活動報告をお聞きしました。平福地域は佐用町の重要な観光拠点の一つです。当日は大変な暑さの中、宮本武蔵初決闘の地で大谷会長のマジックとともに歴史の話を聞き、佐用川の川端を散策し、利神山の山裾沿いを走る智頭鉄道をながめながら、宿場町の街並みや旧田住邸の農家カフェでお茶をよばれ、この度、国指定史跡として認められた利神城跡の話をお聞きしました。これからの佐用町の観光地への地域の意気込みを伺い、参加者全員大いに感銘を受けました。今後は佐用町も本格的に調査を入れ、どのような観光地にしていけばよいか正念場になります。5年後の佐用町が楽しみです。



広報部員

谷本 卓

★安全第一チーム★

私たち、安全第一チームは、高校生の防災・減災の学びを深め、防災・減災活動を活性化させることを目的に「西播磨地域高校生防災サミット」の2回目の実施に向け、会場の見学や各高等学校との調整を行っております。

実施日・会場・実施内容は下記のとおり決定しました。

実施日時：令和元年11月4日（月・祝日） 10：30～16：00

実施場所：兵庫県立先端科学技術支援センター

（兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目1-1）

実施内容：各高校の取組発表、パッククッキング体験、パネル展示、ブース展示など



西播磨地域の高等学校のうち、8校が取組発表、2校がパネル展示にて参加予定です。また、きらきら通信第38号にて報告したとおり、環境防災科を設置し、防災教育に力を入れている兵庫県立舞子高等学校、防災・支援活動が行われている神戸市立神港橋高等学校の高校生に活動内容の発表などにて参加いただきます。

実施結果は、次号（きらきら通信第40号）にて報告します。



広報部員 小河 摩佐子

★西播磨自然探検隊千一ム★

去る9月4日、チーム外5名の参加を加えビジョン委員8名にて揖保川漁業協同組合の運営するアユ種苗センター（通称あゆ赤ちゃんセンター）を訪問、組合長を初め養殖担当の方々より鮎養殖の状況説明を受け、場内見学しました。



同センターはたつの市新宮町北村の揖保川左岸に位置し、県内唯一の鮎の養殖場として昭和58年に開設され、県内河川の放流用を主として年間350万匹を出荷、また、漁協運営の養殖場としては全国でも他に例がありません。

天然鮎は川を河口近くまで下がり産卵、孵化した稚魚は海へ降りて冬の間成長します。育った稚鮎はあらためて川を遡ります。

その生態に従い、当初は海水を運び産卵孵化させていましたが、現在では人工海水を使っているとのこと。成長に従い濃度を薄くしたプールで育った稚鮎たちは4月以降各河川に放流されます。

近年は下水や浄化槽の普及により河川の水質はよくなりましたが、有機成分の減少や水道水に含まれる塩素の流入により生育環境は悪化しているそうです。

そして、一羽で500g/日の魚類を食するカワウの繁殖も問題となっていますが、鳥獣保護の観点から退治も難しいとの状況も伺いました。



揖保川漁協
QRコード

広報部員

野原 建広

★環境再発見千一ム★

私たち、環境再発見チームでは、環境破壊による災害の発生源が何かを考えて活動をしています。今年は、太陽光発電やごみ、マイクロプラスチックの問題について検討をしています。太陽光発電は自然のエネルギーを利用するもので環境問題にとっては、大変有効なものだと考えていますが近年設備の不備によるトラブルが多く発生して地域住民を困らせています。



調査したところ、大型太陽光発電施設は県条例により規制されていますが、小規模のものには設置基準がありません。今回神戸市では市長の指示で設置基準ができたと聞き（住宅等建物に設置分は除外）、説明を受けに行きました。この基準に照らすと、西播磨地域での設置には問題点が多くあります。神戸では基準があり安全で、西播磨では危険な状態にあるということになれば住民の安全安心に地域格差が出来てしまいます。

各市町では専門の知識を持った人員の不足等・コストのかかることが導入を阻んでいます。安全安心に地域格差をつけない行政を希望します。節税対策で所有者が転々と変わっているものもあります。ごみやマイクロプラスチックの問題については引き続き調査・学習中です。



【写真】

(上) 神戸市条例学習会の様子

(左) 各自治体のごみ分類表

(右) 相生湾の漂着プラスチック



広報部員 三好 初代

★史跡と食を巡る千チーム★



私たち、史跡と食を巡る千チームは、前回の報告以降、赤穂市、佐用町、宍粟市、太子町を訪ね、無事に西播磨地域全ての市町の山城に登り切ることができました。

赤穂市の「尼子山城」は、関西福祉大学のボランティアチームの皆さんと一緒にの登山でした。瀬戸内海が間近の山城であったため、山頂近くからの景色はとてもしかったです。

下山後は、誓教寺にある『三界六道図絵』を拝見しながら、説法を聞かせていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。

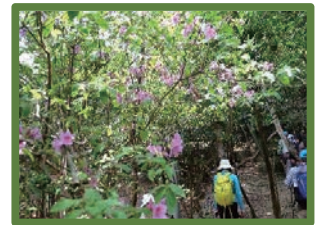
佐用町の「上月城」は、高いところまで登らずとも佐用町の町並みを望むことができるところに特色を感じました。また平福にある「利神城」も麓から見学しました。石垣崩落の危険があるため、現在は登城禁止とのことで、とても残念です。

宍粟市の「長水山城」は春に登ったため、山野草等を楽しむことができました。

山頂にある石垣は驚くほどの高さで、山の上まで石を運んできた昔の人たちの働きには感服しました。

最後の太子町の「楯岩城」は、その名のとおり楯のような岩が多くある城で、登るのは少し大変でした。多くの郭や古墳群が残されているとのことで、歴史の深い山城です。

現在は、これらの登山記録をパンフレットの形にまとめる作業を進めています。チームでの編集会議では色々な意見が飛び交い、良いものができつつあるのではないかと感じていますので、私自身、完成が楽しみです。



広報部員 森岡 典子

★西播磨交流大作戦千チーム★

西播磨地域は古代から横断する三本の代表する「街道」が整備され、東西の交流により多くの文化・風習がもたらされました。

それらの街道を訪問し、地域の方々、学識者との交流を通じて歴史的な史実と現在に至った背景などを探っています。長い歴史の中での変遷により、それぞれの地域には特有のトピックス的の事象、混在している風習など（私たちには）新しい発見がありました。現在、訪問先の事象整理と原稿作成をそれぞれメンバーで、作成しています。年度末に向けて、小冊子にまとめる予定ですのでご期待下さい。



＜訪問先＞

1. 山陽と山陰を結ぶ美作道・因幡道
(平成 31 年 2 月：佐用町長尾地区)
2. 古代山陽道と駅家(うまや)
 - ・布勢の駅家(平成 31 年 4 月：たつの市揖西町小犬丸)
 - ・野磨(やま)の駅家(令和元年 5 月：上郡町落地地区)

＜今後の予定「近世山陽道」＞

- ・相生市(若狭野)
- ・太子町



地図出典
龍野市教育委員会
「布勢駅家」

千チームリーダー 生駒 憲二



西播磨地域夢会議

開催決定!!



前回の夢会議の様子

「西播磨の夢づくり 2030 - 未来の新聞(夢新聞)は語る-」をテーマに2030年に起こっているかもしれない出来事を新聞形式で書きだすワークショップを行います。
皆さん、奮ってご参加ください。
(参加費無料です)

日時：令和2年2月11日(火・祝) 13:00~16:30

場所：上郡町生涯学習支援センター (赤穂郡上郡町上郡 459-1)

「第10期西播磨地域ビジョン委員」の募集について

～光と水と緑でつなぐ～ 元気・西播磨の実現に向けて、子育て、ボランティア・地域活動・仕事などの経験や知識を生かして、西播磨県民局とともに、地域づくりの実践活動を行っていただける「第10期西播磨地域ビジョン委員」を募集する予定です。



秋の花と緑を愛でる会に参加して

- ◎任期 2年間(令和2年4月1日~令和4年3月31日)
- ◎主な役割 地域ビジョンの普及・啓発、地域夢会議の開催など
- ◎処遇 活動はボランティアで無報酬
ボランティア活動保険は県の負担で加入

ご興味のある方は下記事務局までご連絡ください

申込み・お問合せ先：西播磨県民局 県民活動支援課

☎0791-58-2128 (FAX) 0791-58-0523



西播磨地域ビジョン委員会 HP・Facebook 紹介

第9期西播磨地域ビジョン委員会の活動内容の発信を Facebook ページ「西播磨地域ビジョン委員会 ネット de 応援し隊」にて公開しておりますので是非ご覧ください。

兵庫県のホームページでも各チームの活動や出る杭大会の結果など随時更新していますのでこちらもあわせてご覧ください。



兵庫県ホームページ(西播磨地域ビジョン委員会の活動状況)
URL: <https://web.pref.hyogo.lg.jp/whk02/vision/iinkai.html>



Facebook ホームページ(ネット de 応援し隊)
URL: <https://www.facebook.com/nettodeouensitai/>

編集後記



今年も例年のごとく暑い、熱い夏。台風、大雨による甚大な被害。予想外の事故・事件が発生しています。そのような中においても、平成最後の「第18回出る杭大会」が無事に終わり、11月4日の「高校生防災サミット」も当日の開催を待つばかりとなりました。このようにいろいろな行事が順調に推移するのも、7チームに分かれて、日々、実践活動を展開する西播磨地域ビジョン委員の足跡の証かなと考えます。

また、来年2月には西播磨地域夢会議を開催する予定ですが、その準備も着々と進めていますので、多くの方々のご参加をお願いします。

私たちビジョン委員は、地域課題を克服するために現状をしっかりと見極め、それぞれの分野で「光と水と緑でつなぐ-元気・西播磨」の実現に向けた活動を展開しています。

西播磨地域の皆さまとともに、汗を流し、実践し、めざす目標に向かって未来を切り開きたいと考えます。そのために大事なことのひとつが、多様性と寛容のバランスだと思います。目標に向かって進めるためにも、ちょっと相手を思いやるやさしい気持ちも必要かも。

きらきら通信39号発行に際し、多くの皆さまのご協力に感謝します。

西播磨地域ビジョン委員会 広報部会長 門田 守弘



連絡先：西播磨地域ビジョン委員会事務局（西播磨県民局県民活動支援課内）
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25
【TEL】0791-58-2128 【FAX】0791-58-0523

